

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.22)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	ジュンテンドー福知山店	階数	地上1F
建設地	京都府福知山市字新庄小字岡安11	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	10人
気候区分	5地域	年間使用時間	4,368時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2014年11月27日
敷地面積	9,456 m <sup>2</sup>	作成者	金藤郁雄
建築面積	2,978 m <sup>2</sup>	確認日	2014年11月28日
延床面積	2,987 m <sup>2</sup>	確認者	金藤郁雄

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

<b>2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)</b>	<b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b>	<b>2-3 大項目の評価(レーダーチャート)</b>
<p>BEE = 1.0 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	

<b>2-4 中項目の評価(バーチャート)</b>		
Q 環境品質 <b>Qのスコア = 2.6</b>		
<b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.7 音環境: 1.8, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.4	<b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.2 機能性: 3.1, 耐用性: 3.1, 対応性: 3.6	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 1.7 生物環境: 1.0, まちなみ: 2.0, 地域性・: 2.0
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア = 3.4</b>		
<b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.6 建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 4.0, 設備システ: 4.0, 効率的: 3.0	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0 水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.8, 汚染物質: 3.3	<b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.5 地球温暖化: 5.0, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 3.0

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 建物の高さは出来るだけ低くし、また国道9号線より建物を遠ざけて配置することにより、周りの環境や交通の妨げにならないように計画した。		
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 売場の天井高3.6m以上あり、また維持管理に配慮した設計において、取り組みにおいて該当する項目数が6項目あり	<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 屋根に太陽光パネル設置し、自然を活用した有効なシステムが計画されている。またモデル建物法(BEIm)での評価が0.9以下である。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水コマなどに加えて、省水型機器(例えば擬音、節水型便器など)などを用いている。また建物は鉄骨造とし、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、内装材と設	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 換気設備の重要度に応じてシステムを区分し、災害時には重要度の高いシステムを優先的に運転するほか、負荷容量を
<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保、駐輪場利用者の利便性への配慮をしている。また駐車場はお客採用として、適切な量の駐車スペースの確保し、管理用車両		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される